

特許紹介

特 許 / 第2071227号
発明の名称 / **便器の昇降装置**
発 明 者 / 山本 修
安達 隆義
北村 昭則

〔従来技術とその問題点〕

これまで、トイレに設置されている便器は、和、洋式を問わず床面に固定されているのが普通であった。近年生活の洋風化に伴い洋式便器が急速に普及してきた。洋式便器は便座上に座って用足しが行えるので便利である半面、便器が床面に固定されて便座の高さが一定であるため、利用者が身体に障害のある人や子供、老人の場合、便器の高さを変えることができないので、便座に座るのに手間どったり、不本意な姿勢を強いられたりし、洋式便器を気軽に利用できないもどかしさがあった。

〔発明の構成〕

この発明は、図1のように、トイレの床面にねじ孔を設けた脚台を4か所設け、この脚台のねじ孔にねじ杆を螺合し、これらねじ杆の上部にスプロケットを取付け、上端には洋式便器を嵌め込んで床面から浮かせ状態で保持する昇降台を載置する。そして、ねじ杆に取付けた各スプロケット間に図2のようにチェーンを巻掛け、このチェーンをブレーキを備えた電動機に連結して、電動機を図示しないコントローラにより回転を制御させながら駆動すると、昇降台に嵌め込まれた便器は、ねじ杆が右または、左方向に回転することにより、図3のように任意の高さに移動する。

したがって、利用者はコントローラを操作することにより、便器の高さを自分の座りやすい位置に簡単に移動させることができる。

〔発明の効果〕

- (1) 電動機を起動してねじ杆を回転させることにより、便器を簡単に自分の希望する高さ位置に設定することができるので、体に障害のある人はもとより、子供や老人でも洋式便器を気軽に使用でき便利である。
- (2) また、便器を昇降させる手段は、便器を嵌め込んだ昇降台をねじ杆とチェーン及びチェーンを駆動する電動機によって構成されているので、簡単な構造で、しかも、トイレ内に特別なスペースを必要とすることなく、設置できるので至便である。

関連特許

特許第2078338号「便器の昇降制御装置」

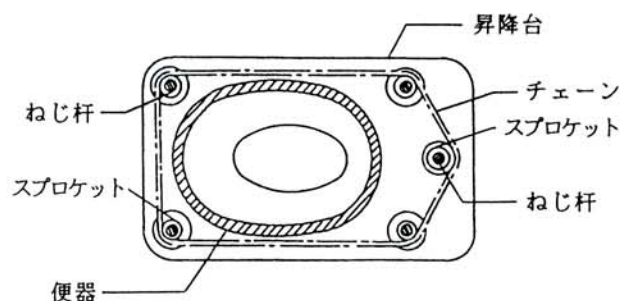


図2 / チェーンの巻掛け状態を示す説明図

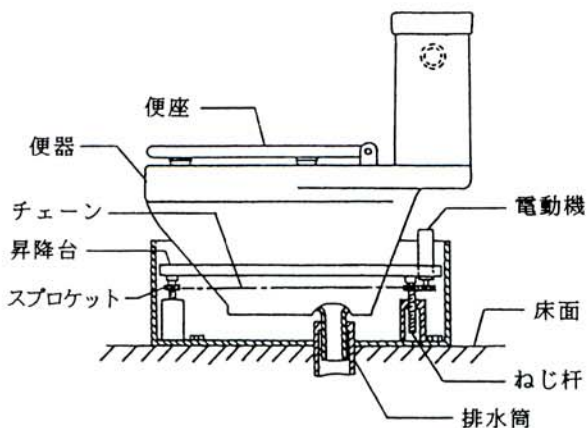


図1 / 便器の昇降手段を示す断面図

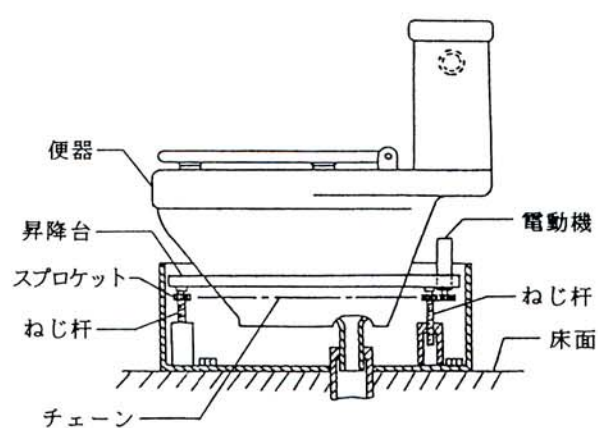


図3 / 便器を上昇させた状態を示す説明図